

第2部曲から「フィンランディア」他を練習

□ 5月5日（金・祝）の定例レッスンは、奥村さんの体操、本並先生のヴォイストレーニングに始まり、伊藤副指揮者がアクセントでこの日は欠席、本並先生の指揮で、コンサート第2部曲から「フィンランディア」をしっかりと、続いて、「ルスカエ・ポーリエ」、「さとうきび畑」、「芭蕉



布」を練習しました。また、「日中友好コンサート」の曲から「海よ故郷」を原語で一回だけ練習しました。ピアノは森さんで、参加は全34名でした。

レッスンメモ

□ 「フィンランディア」；“顔”で歌う！晴れ晴れと明るい顔で！声も晴れ晴れと明るくなる。

□ 「ルスカエ・ポーリエ」；これも故郷をなつかしみ愛する“顔”で！ ・ポーレではなくポーリエ ・ポーリエのー（16分音符2つ）は流さずくっきりと段をつけて、音を“鎖骨”で切るつもりで。 ・ルスカエのルは、出来る人は巻き舌で。

□ 「さとうきび畑」；「ざわわ」粘っこく歌わない。 ・「かぜがとおりぬけるだけ」のけはファルセットで（Iを歌う人）。 ・「あめにうたれ」ことばの頭をはっきり歌う。 ・「父は死んでいった二」撥音のあとのた一は漫然とうたわず、置くようにうたう。

□ 「芭蕉布」初めて譜読みをしました。 ・「いまは昔の～」56～71小節はテナーが歌う。同じ部分のオブリガートはバリトンとバスで（譜面と逆にする）。

□ 「海よ、故郷」中国語で1回だけ練習しました。ダーハイは濁らず、ターハイとうたう。

○ 「関西紫金草合唱団コンサート」～7月7日七夕の夜～のチケットは岡邑さんまで。

○ 「関西合唱団第82回定演」のチケット(6月24日、7月1日)は、奥村さん、榎本さんまで。